

《 記 入 例 》

第7号様式（第7条関係）

令和 年 月 日
第 号

社会福祉法人沖縄県社会福祉協議会

会長

殿

所在地

団体名称

代表者職氏名

電話番号

(担当


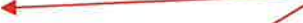
印)
)

令和 年度助成事業実績報告書

(社会福祉振興基金)

助成事業が完了したので、規程第14条の規定により、その実績を報告します。

記

- 1 完了年月日 令和 年 月 日
- 2 事業の実施内容及び成果（付表7-1）
- 3 事業の収支決算書又は決算見込書（付表7-2）
- 4 添付書類  ※各事業に応じた資料を添付
 - (1) 施設及び設備の整備の場合
 - (ア) 「契約書」の写し
 - (イ) 業者の「請求書」の写し
 - (ウ) 整備完了後の写真
 - (2) 備品の整備の場合
 - (ア) 「見積・合見積」の写し、納入業者の「納品書」の写し、「領収書」の写し
 - (イ) 写真
 - (3) 団体の活動及び研修の場合
 - (ア) 「領収書」の写し
 - (イ) 要綱等の写し
 - (ウ) 成果品、写真
 - (4) 助成金交付決定通知書の写し  忘れずをお願いします
 - (5) その他参考資料

(注) 添付書類の写しについてはすべて原本証明すること。

《 記 入 例 》

(付表 7 - 1)

助成事業の実施内容及び成果

1 事業名 : **いきいき長寿研修会開催事業**

助成対象経費として計上できる科目(※P36参照)の合計額

該当事業の事業費総額

2 事業費

総事業費 A	助成対象経費 B	助成金充当額 C = B × 4/5 以下	寄附金及び自己資金等 D = A - C
650,000 円	550,280 円	400,000 円	250,280 円

本会が決定した助成額

3 実施内容及び成果 (※具体的に記入)

事業実施内容及び具体的な成果を記入

《 記 入 例 》

(付表7-2)

対 象 経 費 の 収 支 決 算 (見 込) 書

1 収入の部

(単位：円)

項 目	予 算 額	決 算 額	摘 要
助 成 金	400,000	400,000	「社会福祉振興基金」助成
自 己 資 金	151,000	150,280	内訳 自己資金等
合 計	551,000	※550,280	※1

※1 太枠の2か所は一致すること

2 支出の部

(単位：円)

科 目		対 象 経 費 内 訳		摘 要
大	中	当初計画 (予算額)	決算額	
事業費	諸謝金※2	112,000	111,600	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内講師1名分 5,500×3H×2日=33,000円 ※3 ・ 県外講師1名分 11,000×3H×2日=66,000円 ※3 ・ 看護師臨時雇上1名(2日分) 6,300×2日=12,600
	旅費交通費 ※2	89,000	88,680	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県外講師 東京⇄沖縄 1名分 65,000×1名=65,000 ・ 講師電車賃 虎の門駅⇄羽田空港駅 3,200 ・ 講師バス代 那覇空港⇄会場 440 会場⇄ホテル 440 ・ 講師宿泊費 9,800円(助成基準限度額)×2泊=19,600 ※3
	印刷製本費 ※2	250,000	250,000	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修会資料印刷 150円×1,000部=150,000 ・ 研修会ポスター印刷 200円×500枚=100,000
	通信運搬費 ※2	100,000	100,000	<ul style="list-style-type: none"> ・ 案内等郵送の為の切手代 82円切手×1,200枚=98,400円 200円切手×8枚=1,600円
合 計		551,000	※550,280	※1

※2 勘定科目に合わせて記入(P36参照)

※3 各科目の助成基準限度額を確認し、内訳を記入(P37~38参照)